



第55期総括と第56期スタートへ

今年も12月に入り残すところ1ヶ月となりました。先月11月は比較的に穏やかな気温で過ごしやすい月であったように思いました。週末は寒波が来て寒さを感じましたが、いよいよ冬本番の12月となりますので、寒さ対策は十分に行って頂いて、引き続きの体調管理の方をよろしくお願いいたします。

会社の方も11月で第55期が終了となり、今月から新年度の第56期がスタート致しました。第55期は一年間ありがとうございました。社員皆様のおかげで売上計画と収益計画とも計画達成となりました。社員皆様のご協力もそうですが、お客様や仕入れ先様も含めて関係者の方々のお力添えで成しえた結果と感じております。本当に一年間ありがとうございました。

中国向けの医療機器の生産再開は、現在は一息着いた状態で安定した受注状況となっておりますが、特定のお客様向け製品については前年度からの増産対応で売上を大きく伸ばすことが出来ました。このような状況の中、いろいろと各部門長をはじめ社員皆様には一年間ご尽力を賜り誠にありがとうございました。

今月から第56期のスタートとなり、新たな基本方針を發布し今まで取り組んで来た事を引き続き継承して、さらなる成長を遂げて行けるよう引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは今年も今月1ヶ月となりますが、健康には十分気を付けて頂いて今月もどうぞよろしくお願いいたします。

社長 太田 聡
 編集担当：島

ハラスメントについて（第17回）【リスハラ】

今回はハラスメント10項目として、リスハラ（リストラハラスメント）を取り上げます。



【リストラ・ハラスメント】

リストラ・ハラスメントとは、リストラ対象となった人に対するハラスメントのこと。会社都合退職であるリストラを避けるため自主退職に追い込む嫌がらせ行為で、パワーハラスメントの1つ、あるいはモラルハラスメントの1つと考えられることもあります。

リストラハラスメント、略してリスハラは被害者になってしまうと戦う相手が企業となることも多く、社内に相談場所がないなど精神的苦痛が大きいハラスメントです。

一方で、リストラに関してふと口にした言葉がリストラハラスメントとみなされ、思いがけず加害者になってしまうことがあります。

自主退職に追い込む嫌がらせの例

- ・ 本人が望まない部署へ急に異動を命じ、経験も活かせず慣れない仕事をさせる
- ・ こなしきれないほどの膨大な量の業務を任せる
- ・ 本人が拒否しているにも関わらず、しつこく退職を迫る



加害者になってしまう例

- ・ 「あ、やっぱり」「役立たずだったからね」等の発言



水道料金

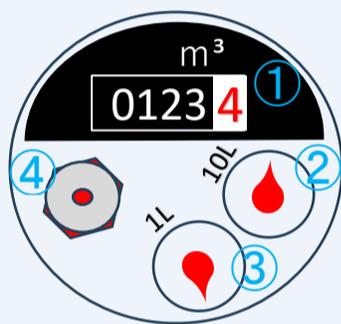
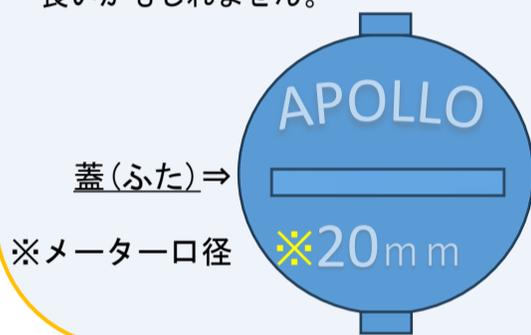
暮らしに欠かせないガソリン、電気について紹介してきました。次はガス料金について書こうと思いましたが、ガソリンとあまり変わらない内容になってしまいそうなので、今回は水道料金についてまとめてみました。

最初に水道料金の税率についてです。令和元年に軽減税率制度が導入され、基本的に飲んだり食べたりすることができる「飲食料品」は8%に軽減されていますが、水道料金は適用されるのか。日本の水道水は消毒されているため飲むことも料理にも使用できるため「飲食料品」と認識できます。ですが、お風呂、洗濯といった飲食用以外の生活用水として供給されるものが混然一体となって提供されているので軽減税率の適応対象ではありません。なので水道料金の税率は10%になります。因みにペットボトルの飲料水は軽減税率適応になるので8%になります。

次にどのように料金を決めているのか紹介します。

毎月決まった金額が請求される「基本料金」と、使用した水の量に応じて請求される「従量料金」の2つから成り、それらを足した料金が、水道料金になります。

この基本料金ですが、水道メーターの口径(水道管の太さ)によって料金が変わるのをご存じですか。戸建てだと13mmか20mmに分かれ、メーターが大きくなれば基本料金が高くなります。一方従量料金は、使用量に応じて料金単価が変わる段階料金となっていて、沢山使うほど1m³(1000L)当たりの料金単価が高くなります。この水道メーターの口径による基本料金と従量料金の違いは各市のホームページに載っていますので確認してみてください。最後に水道メーターの見方を紹介します。ご自宅のメーター口径、メーターの数字を見てどの位使ったか、料金はどのくらいかご自身で確認してみても良いかもしれません。



- ①立方メートル
現在の水量 下の赤字が100L単位 現在の水量から前回の水量を差し引いた数字が使用量になります。
- ②10L単位 ③1L単位
- ④パイロットマーク
水道を使用すると回転するため、使用していないのに回転していたら漏水している可能性があります。

編集担当:横井

敗戦 ～徳川家康～

先月号のあらすじ
～武田信玄が二俣城に進軍していると知った徳川家康は、本軍とは別に偵察軍を向かわせた。だが不遇に武田軍と遭遇してしまう。戦う事を想定しておらず装備が無い～偵察軍は直ちに本隊(家康)と合流するため急いで退却します。退却してくる偵察軍が武田軍を引き連れて戻ってきたことに驚いた家康は、勢いに乗る武田軍の攻撃を引き連れた兵では防ぎきれないと判断、浜松城に撤退することに。そこで行なわれたのが一言坂の戦い、要は撤退するための時間稼ぎの戦いです。なんとか浜松城にたどり着いたものの、一言坂の戦いで大敗した家康軍に二俣城を解放するための人的余力はなく、二俣城は落城、いわば見殺しという形で二俣城の戦いが終わります。

1573年 三方ヶ原の戦い
二俣城が落城、武田軍が浜松城を直接狙える状況となった。いつ進軍してくるか分からない状況、家康は厳しい籠城戦を覚悟し、籠城作戦を開始します。しかし、武田軍は予想だにしない行動に出ます。なんと浜松城を素通り、堀江城へ進軍しました。その知らせを受けた家康は

籠城作戦を中止、背後から武田軍を奇襲する作戦に切り替えます。信長の援軍も加わり、武田軍に迫ります。三方ヶ原台地で武田軍に追いついた家康軍でしたが、そこで目にしたのは驚きの光景でした。そこには万全の構えで待つ武田軍。わざと素通りし、家康を挑発して誘い出すという信玄の作戦でした。戦の結末は、家康軍の大敗、そして敗走。家康も討死寸前まで追い詰められ敗走しながら脱糞したとかしないとか。この敗走は徳川家康の人生最大危機とも言われ、城に戻り、苦渋の表情の肖像画を描かせた通称「顰像」(しかみ像)が有名です。当然、逃げる家康を追って浜松城へ向かう武田軍だったが、家康による「空城計」(くうじょうけい)※により武田軍は躊躇し、引き上げることとなった。
※あえて自分の陣地に敵を招き入れることで敵の警戒心を誘う計略のこと。
その後、武田軍は野田城を落城、勢いが止まらないその様をただ眺めることしかできない家康。しかし、武田軍に異変が起きます。武田信玄 病により死亡。
次号へ続きます。(どうする家康)

編集担当:横井

編集担当より

記事として取り上げている徳川家康ですが、2023年11月3日～2023年12月13日の間、静岡市美術館にて「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」が開催されています。静岡市美術館史上最多の国宝・重要文化財約50点が展覧されています。また、家康の前に立ちはだかり、重要な決断を迫った武田信玄、織田信長、豊臣秀吉をはじめ、酒井忠次、本多忠勝、榊原康政ら「徳川四天王」に代表される家臣団の精鋭たちゆかりの肖像画、武具なども数多く展覧されているようです。その他、浜松城では2023年3月18日～2024年1月14日の間「どうする家康 浜松大河ドラマ館」が開催しています。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行 アポロ電気株式会社

〒438-0004
静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地
TEL: 0538-38-2228 FAX: 0538-38-2898
URL: <https://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当: 管理室

発行日: 令和5年12月1日